

令和6年度 山梨県立山梨高等学校定時制評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	校訓「至誠無息」をあらゆる生活の中での心得として、常に目標や理想を高く掲げ、真摯に生きる生徒の育成
-----------	---

山梨県立山梨高等学校校長 清水規与美

本年度の重点目標	1 基礎的・基本的学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲を持つ生徒の育成	達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4	良くできている。
	2 自他を敬愛する豊かな心と、協働して物事に対応できる社会性を持つ生徒の育成		B	概ね達成できた。(6割以上)		3	できている。
	3 学業と仕事を両立させることのできる、心身ともにたくましい生徒の育成		C	不十分である。(4割以上)		2	あまりできていない。
	4 地域や勤務先、保護者に信頼される学校づくり		D	達成できなかった。(4割以下)		1	できていない。

本年度の重点目標			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	学習意欲を高め、学習習慣の確立につながる授業改善の推進	①予習・復習を習慣化し、理解を促す授業の展開	生徒の学習課題提出状況 生徒アンケート
		②授業改善につなげるための教員の研修機会の充実と学習評価の実践	授業アンケート 定期試験・教員研修
		③国語・数学・英語で実施している少人数授業やチームティーチング、合理的配慮の成果の検証	授業アンケート 生徒アンケート
2	自他を敬愛する豊かな心を育む多様な体験活動の推進	①コミュニケーション力や自己肯定感を育むための生徒会行事等の企画運営	生徒アンケート 教員アンケート
		②いじめアンケートの定期的な実施と、日ごろからの細やかな観察と指導によるいじめ根絶への対応	いじめアンケート
		③教員の働き方改革につながる、地域や専門家といった外部人材の積極的な活用	教員アンケート 外部人材活用実績
3	基本的生活習慣の確立と、自己の在り方生き方を追究したキャリア観の育成	①学業と仕事の両立に向けた、遅刻・欠席等への積極的な指導	三者懇談 生徒アンケート
		②進路実現に向けた進路講話や個人面談、各種説明会など進路希望に沿った柔軟な情報提供	保護者アンケート 進路情報の提供
		③進学・就職希望者に対する作文・面接指導の実施	作文・面接指導の実績 生徒・保護者アンケート
4	ホームページや学校通信等による積極的な情報提供	①HPや学校通信、保健だよりに生徒参加の機会を設けた情報発信	生徒・保護者アンケート
		②保護者の来校機会を増やすための公開授業や公開行事等の実施	保護者アンケート

年度末評価(2月1日現在)		
自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
生徒が積極的に授業に参加できるよう、スモールステップでの達成感を実感させたり、ICT活用によりわかりやすい授業展開を実施した。学ぶ楽しさを実感し、学びなおしも含めた基礎基本の定着を図っている。	B	チームティーチングや合理的配慮による加配により、生徒一人一人に目の行き届く学習環境である。生徒が、授業への参加だけでなく、家庭学習を習慣化できるよう指導を続けたい。
クラスに在籍1人という学年が2学年ある。全校で行う学校行事や体験授業をとおして、人間関係の広がる場面を作っている。外部講師の定時制課程への理解もあり、体験活動をとおして、生徒を応援する言葉かけもいただいた。	A	県・市の各課と継続して外部講師依頼を行うことで、こちらの要望を生かした講師や講演内容を相談しやすくなっている。新たに講師の開拓なども積極的に行いたい。 いじめ根絶への対応には高い評価をいただいた。引き続き、生徒の様子を注意して対応していく。
高校入学前に不登校傾向の生徒も多く、学校が心理的安全性の高い場所となるよう、ない日の声掛けは欠かせない。保護者との連絡を丁寧に行い、家庭とも寄り添った指導を継続している。 進路指導では生徒の希望が決定するまで、じっくりと相談に乗り、個々に対応した指導を心掛けている。	B	学業と両立しながら、アルバイトに挑戦しようという生徒が長期継続ができるよう、コミュニケーション力や課題解決能力の育成を重点的に実施したい。 卒業時の進路を見据えた就職・進学試験への対応だけでなく、それに付随する免許等取得の準備についても保護者と連携し、早めの対応を行う。
ホームページでは即時、定時制通信と保健だよりは定期的に発行することでそれぞれの媒体の持ち味を生かしている。端末を持っていない保護者には紙媒体で配付し、情報が行き届くよう配慮している。	A	情報発信だけでなく、保護者からの反応も生かした情報提供も視野に入れる。

実施日 (令和7年2月17日)	
評価	意見・要望等
3	学校での授業をもとに、生徒が家庭などで学習しようという意欲を付けることが大切です。その場合に、ICTの活用を進めて気軽に予習復習ができる環境をつくっていくことも大切だと思います。 勤労と両立は大変だと思う。わかりやすい授業が必要。先生も自分の子供だと思って指導してほしい。
4	高校にもいじめがあると思うと残念です。大人社会がそうだからだと思います。社会に出ると様々な困難があるので、先生方の声掛けが支えになると思います。外部講師の活用は有意義だと思います。 人間関係の難しい時代ですが、自分一人ではない、必ず仲間がいると教えてほしい。
4	不登校傾向の生徒への毎日の声掛け大変ありがとうございます。高校での充実した活動がそれまでのマイナス面をプラスにしてくれる気がします。また、将来に向けた進路指導もこの年代の生徒にとって特に重要だと思います。 十代で二足の草鞋を履く生活で学校に行く、素晴らしいと思います。進路指導をよろしくお願いします。
4	何のために何をどのように伝えるかは、しっかり見極める必要があると思います。今の時代に合った情報提供の在り方は、さらに更新されるべきだと思います。 保護者が生徒以上に来校してほしいですね。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。